



葉山町

議会だより

No. **122**
2015.11.11



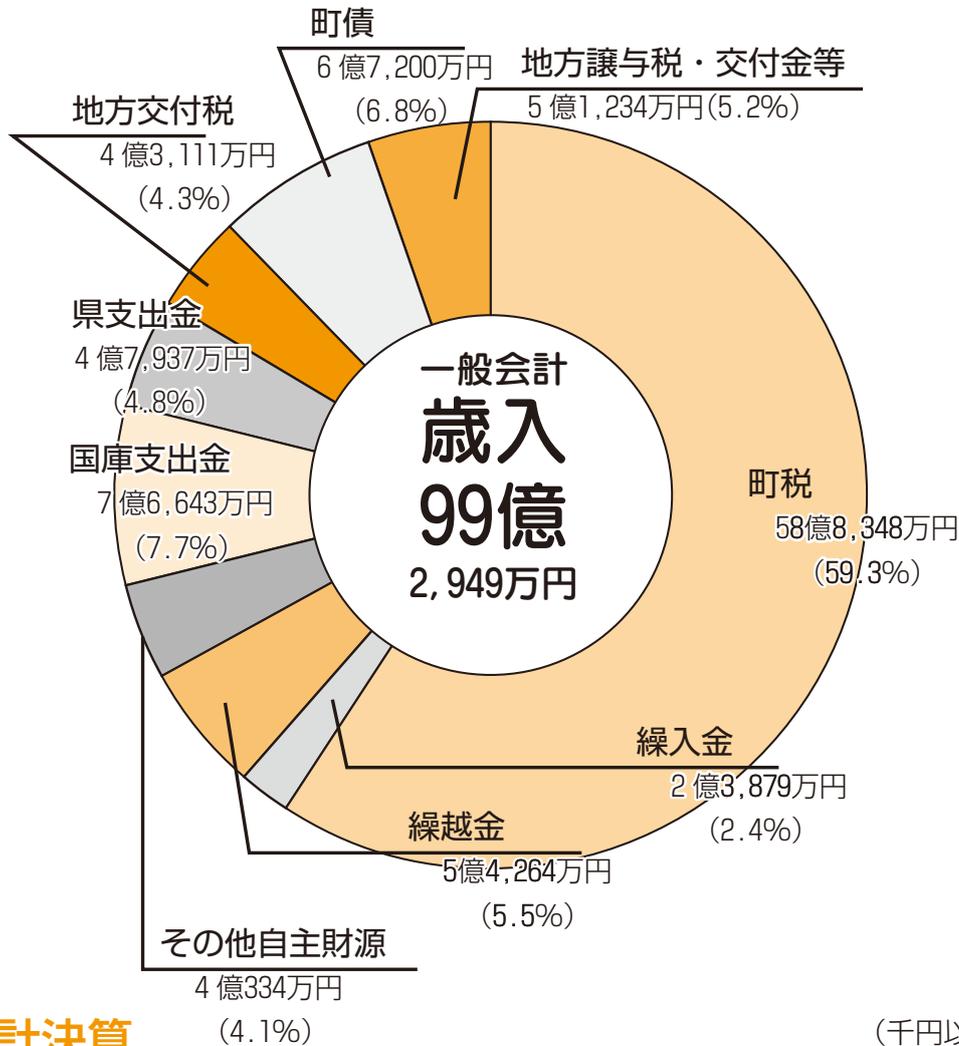
第3回定例会 (9月4日～10月8日)

- 平成26年度決算 2～7ページ
- こんなことが決まりました 8～9ページ
- 委員会レポート 10～13ページ
- 一般質問 (11人登壇) 18～23ページ



は賛成なしで不認定

～職員給与過支給問題が大きな原因～



特別会計決算

(千円以下四捨五入)

(千円以下四捨五入)

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	40億2,955万円	38億2,274万円	2億 682万円
後期高齢者医療	9億1,172万円	8億4,394万円	6,778万円
介護保険	26億5,909万円	25億5,462万円	1億 447万円
下水道事業	12億6,567万円	12億1,609万円	4,958万円
合計	88億6,604万円	84億3,739万円	4億2,865万円

町債残高

〔一般会計〕 57億 82万円
 そのうち臨時財政対策債 (町債全体の約70%)
 39億7,328万円
 〔下水道事業特別会計〕 81億9,169万円

基金残高

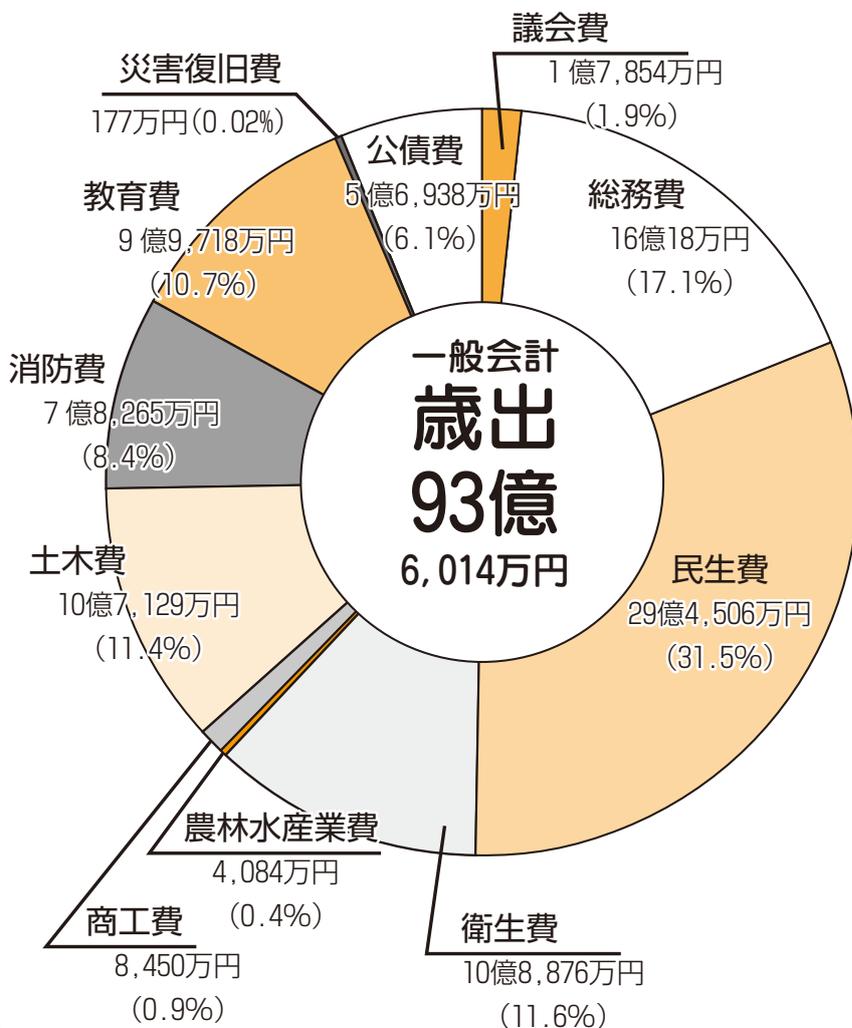
ふるさと葉山みどり基金 1億2,245万円
 公共公益施設整備基金 6億2,532万円
 財政調整基金 9億 680万円

平成26年度

決算の概要

一般会計決算

特別会計はすべて認定



▷一般会計歳入の決算額は、前年度比 5 億3,913万円の増となりました。

町民税・固定資産税・都市計画税が増収となり、町税は前年度比 1 億7,211万円の増となりました。

▷一般会計歳出の決算額は、前年度比 5 億1,242万円の増となりました。

物件費は、し尿収集方式の変更により、し尿収集・運搬処理委託がなくなり、1 億 7,813万円減となりました。扶助費は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の支給により 1 億705万円の増となりました。

▷少子高齢社会の進展に伴い、民生費の割合が、この10年間で1.5倍近くに増えました。

※詳細は町ホームページ「葉山の町政」からご覧いただけます。

決算特別委員会審査

どんな**成果**があったか

事業ごとに審査しました(主な事業)



葉山町消防本部作戦室

消防救急無線デジタル化整備事業
1億7627万円
横須賀市・三浦市・葉

山町消防指令センター共同化事業にともなう、消防救急無線デジタル化整備負担金など。

常備消防事務運営事業
598万円

聴覚障がい者のためのWEB119システム導入にかかわる委託料及び運用管理負担金など。

防災行政無線再整備事業
7501万円

老朽化した無線設備を最新のデジタル無線設備に更新することで、難聴地域の解消と災害時の体制強化を図った。

防災対策事務運営事業
339万円

津波避難誘導路面ステッカー、LEDソーラーポイントライトを設置した。

ごみ収集事業
8876万円

ごみ運搬処分委託、戸別収集パンフレット作成、塵芥収集車2台購入、クリーンセンター場内整備工事など。

合併処理浄化槽設置整備補助事業
200万円

浄化槽設置に対して5件、維持管理に対して67件の補助金を交付した。

男女共同参画推進事業
44万円

DV相談、被害者支援で190件の相談を受けた。DV被害者などに対する一時保護宿泊費を負担した。

各小学校空調設備設置工事
1億9116万円

小学校4校の空調設備設置工事を行った。



取り付けられたエアコン

町制90周年記念誌発行事業
397万円

平成27年1月の町制施行90周年を記念し、記念誌4千部を発行した。



臨時福祉給付金給付事業
5613万円

消費税率が8%に引き上げられたことに伴い、所得の低い3973人に支給した。

消防車両整備事業
3440万円

救急2号車と車載医療機器、ならびに搬送車を更新した。

健康増進事業
155万円

葉山ウォーキングマップ、医療マップを作成した。

南郷上ノ山公園管理事業
342万円

多目的グラウンドの整備工事などを行った。

みどりの保全事業
554万円

松くい虫の防除、緑地内フェンス修繕などを行った。

口座振替推進キャンペーン商品購入
263万円

町税の税収確保業務として町の特産品(葉山牛のレトルトカレー)を購入し、進呈した。

障害者、タクシー券交付事業
362万円

373人の登録者に対し、1枚600円のタクシー券を年間24枚交付した。

子育て世帯臨時特例給付金給付事業
3532万円

児童手当を受給している世帯に支給した。

下水道整備事業
2億5138万円

葉山中継ポンプ場耐震設計を委託した。幹線・管渠築造工事などを行った。

下水道投入施設維持管理事業
5174万円

葉山浄化センターで、し尿及び浄化槽汚泥処理を行った。

決算審議総括質問

—— **こんな点が気がかり** ——
質問者の提出原稿を基に編集しています

9月9日・10日、26年度決算に対し6人の議員が総括質問を行いました。

横山すみ子
(新葉クラブ)

額も含め説明を。

総務部長 「その他雑入」

の過払い給与等返納金402万9千円は、職員等の過支給及び扶養手当者扶養手当の過支給等が等の過支給について、金あり、返還され「その他

雑入」に入れた。

問 どうして雑入に入れたのか。

総務部長 こちらは、過年度分なので「その他雑入」という形で入れた。

問 何年度からどうしてこういうことが起き、発見されて戻ったかの原因を伺っている。

総務部長 決裁途上でよく精査しているが、支給停止の手続きをすべきところを発見できず、様々な事務的要因がある。

問 402万円は、かなりの金額の過支給で、1、2年の問題ではないと感じる。この件について聞いたのはいつか。

町長 27年の春だった。(後日、「26年の春」と訂正あり)

畑中由喜子
(いわてき業正の会)

問 町税収納率の向上に効果があった口座振替キャンペーンを継続しては、**総務部長** 有効と認識しており、考慮したい。

問 監査の決算審査意見書に職員給与手当等の過支給があったという驚くべき記述があった。再発防止策は。議会へ報告すべきではなかったか。

町長 今回は事務処理の不手際があったが当該職員からは返金があり、財政的に大きな損害はな

く、倍以上の増額となっている。以前、税収を高め

るために請求しやすいところから働きかけると聞

く。時効分が増えたのか。**総務部長** 人員増もあり、調査できなかつた事業所

廃止等の事実確認が取れ、不納欠損となつた。

問 町長就任時、財政調整基金目標は、5億円だった。今、9億円。どこまで貯め込むのか。



環境部長 町にとつて何が一番効果があつて、接続率向上につながるか検証していきたい。

窪田 美樹
(日本共産党)

を立ち上げ、事例集をまとめ、今後の事務処理改善に努める。

問 税収が上がつた要因は、県の徴収員やアルバイト員を雇つたという。

27年度は県職員もいない。徴収技術は習得できたか。**総務部長** 伝授された。

問 不納欠損額が25年度比、倍以上の増額となっている。以前、税収を高め

るために請求しやすいところから働きかけると聞

く。時効分が増えたのか。**総務部長** 人員増もあり、調査できなかつた事業所

廃止等の事実確認が取れ、不納欠損となつた。

問 町長就任時、財政調整基金目標は、5億円だった。今、9億円。どこまで貯め込むのか。

町長 施設整備を考えると、余裕があれば将来のためにストックしていく。

町の減収分はいくらか。**総務部長** 64人あり、町税の控除は116万円ほどある。

笠原 俊一
(尚政会)

が目白押しとなる。財政調整基金や公共施設整備基金の積み上げ目標値を持つて、財政計画策定作業に取組むべきだ。**町長** 公共施設に関する総合管理計画に則つた財政計画を組めるかが大きいポイントだ。生活排水

26年度は寄附金が前年度対比36.68%、25.32万円と大幅に伸び

ている。一般寄附、公共公益施設整備寄附金とあるが、ふるさと納税の割合はいくらか。

政策財政部長 寄附金2526万円のうち一般寄附金が1706万円。その他、公共公益施設整備

の他、公共公益施設整備費寄附金と保健衛生費寄附金の3寄附金となる。

町長 おっしゃる通りに町民と事業者と町との連携で作る海の観光事業なので、これからもしっかりと連携を強めて、ともに課題解決に取組んでいきたい。

問 他市町へのふるさと納税者件数と控除による多額の経費を要する事業

今後10年間の内に、

が日白押しとなる。財政調整基金や公共施設整備基金の積み上げ目標値を持つて、財政計画策定作業に取組むべきだ。**町長** 公共施設に関する総合管理計画に則つた財政計画を組めるかが大きいポイントだ。生活排水

あり、町長が先頭に立ち提供すべき海水浴場の方向性を示すべきではないか。また、事業者と利用者との責任分担だけの条例に、一般会計6割を支える町民を加える改正が必要ではないか。

町長 おっしゃる通りに町民と事業者と町との連携で作る海の観光事業なので、これからもしっかりと連携を強めて、ともに課題解決に取組んでいきたい。

平成27年3月に定期監査報告書で指摘を受けた、職員給与過払い事案への対応が遅いが。

副町長 報告を受け、事務処理改善検討の委員会立ち上げの指示は出したが、いまだ設置していない事実は大変申し訳ない。

待寺 真司
(無所属)

今後10年間の内に、

多額の経費を要する事業

決算特別委員会審査報告

決算特別委員会を設置し、伊東圭介委員長のもと、山田由美副委員長、窪田美樹、畑中由喜子、石岡実成、土佐洋子各委員が9月11日から5日間、関係部課長等の出席を求め、説明及び提出資料により慎重審査を行い、最終日には町長、副町長及び教育長の出席を求め、質問しました。

町長質問

問 ハラスメント問題の認識と対応は。

答 職員から相談等の報告はない。研修は行っている。

問 非核平和推進事業に對する考え方は。

答 核兵器廃絶に向けて

の平和首長会議に加盟した。映画「日本と原発」の上映を後援した。

問 海水浴場開設事業実施による経済効果の検証は。

答 経済効果のみの検証は行っていない。

問 海水浴場のルール強化のための条例改正に関する考え方は。

答 現行の条例で機能したと思う。

問 住宅リフォーム資金助成制度の今後の方針は。

答 内容の精査が、今後大切になる。利用業者に偏りがあるように思う。改善を図りたい。

問 妊産婦健診助成のさらなる充実は。

「平成26年度葉山町一般会計 歳入歳出決算」

は賛成なしにより認定しないことに、「平成26年度葉山町国民健康保険特

答 各回500円のアップを図ったので、妥当であると思う。

問 小児医療費助成に對する考え方は。

答 27年度に所得制限を外した。経過を見守りたい。

問 国民健康保険特別会計への一般会計繰入に関する考え方は。

答 一般会計の税収を繰り入れることから、慎重に検討していく。

問 職員給与の過支給に関する対応は。

答 決してあつてはならないことであり、二度と起こさない体制作りを進めている最中である。経緯を確認し、職員にミスがあれば厳正な処罰で対応する。

審査結果

「平成26年度葉山町一般会計 歳入歳出決算」は賛成なしにより認定しないことに、「平成26年度葉山町国民健康保険特

別会計 歳入歳出決算」、「平成26年度葉山町後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算」、「平成26年度葉山町介護保険特別会計 歳入歳出決算」、「平成26年度葉山町下水道事業特別会計 歳入歳出決算」は賛成多数により認定することに、次の指摘、要望、及び意見を付し、それぞれ決しました。

指摘

- 1 災害対策基本法第42条に定める通り、毎年、地域防災計画改訂に係る検討を行うべきである。
- 2 役場の障害者雇用については、福祉課においても把握し、総務課と連携して対応すべきである。
- 3 合併処理浄化槽維持管理費補助金の目標件数に対し、実際の補助件数が過少であること

を真摯に受け止め、改善を図るべきである。

要望

- 1 ごみ戸別収集の実施に当たっては、外国人等に対し適宜対応できる体制を整備されたい。
- 2 教育的配慮から、小学校に設置のソーラー設備に発電量のモニター

1の追加設置を検討されたい。

意見

- 1 個人事業主からの源泉徴収漏れがあったことを踏まえ、支出に当たっては、より慎重に審査を行うこと。
- 2 県内自治体との連携

を、これまで以上に推進していくこと。
 3 文化公演事業の入場者数を増やすための工夫を行うこと。
 4 法律相談について相談日等の充実を図り、より利用しやすいサービスとすること。
 5 公共施設の計画的な修繕・整備体制を構築すること。
 6 保育園・教育総合センターに設置しているエレベーターの修繕について、故障の原因、機種選定の適否等について検証すること。
 なお、職員給与の過支給に関する対応は、事務手続き上の不備、情報開示のあり方に関し多くの指摘がなされ、町民の信頼を失いかねない事態であることを深く認識し、原因究明及び再発防止に向けたチェック体制の構築に向けた取組みを早急に行うべきであることを特に付記しました。



審査のようす



審査のようす

本会議における平成26年度の決算審議結果

畑中由喜子、土佐洋子、窪田美樹、待寺真司の各議員が討論を行いました。

主な討論内容

賛成

国民健康保険特別会計

- 一般会計からの繰り入れは公平性の観点から妥当 (土佐)

介護保険特別会計

- 単年度収支に改善が見られる (待寺)

下水道事業特別会計

- 事業に進捗が見られる (待寺)

- ごみの分別不良や不法投棄等の課題解決が必要 (窪田)
- 海水浴場開設事業の評価を行うべき (畑中)

国民健康保険特別会計

- 基金からの繰り入れは根本的解決ではない (窪田)
- 保険料の抑制に努めるべき (畑中)

後期高齢者医療特別会計

- 制度そのものに反対 (畑中、窪田)

反対

一般会計

- 職員給与過払いの処理が問題 (畑中、土佐、窪田、待寺)
- 消防共同化は広域化につながる心配がある (畑中、窪田)
- 地域手当の削減の問題が未解決 (土佐)
- 小中学校の清掃計画が不十分 (窪田)

介護保険特別会計

- 国の財源補助が少なく受給者の負担が大き (窪田)

下水道事業特別会計

- 接続率が低く、将来展望が示されていない (畑中、窪田)
- 町長マニフェストとの整合性がない (窪田)

各会計別決算審議の結果

◎一般会計

賛成なしにより

不認定

◎国民健康保険特別会計

賛成多数により

◎後期高齢者医療特別会計

賛成多数により

◎介護保険特別会計

賛成多数により

◎下水道事業特別会計

賛成多数により

認 定

こんなことが決まりました



第3回定例会は、9月4日から10月8日までの35日間開催しました。補正予算をはじめ、条例など32件を審議し、一般質問は11人が行いました。

■平成27年度葉山町一般会計補正予算(第3号)

歳入概要

- 町民税 現年課税分及び滞納繰越分 (△1億2193万円)
- 地方交付税 (1億7503万円)
- 総務費国庫補助金 (1266万円)
- 繰越金 (3億2712万円)

歳出概要

- 総務費
- 神奈川県町村情報システム共同事業 (789万円)
- 個人番号カード交付事業 (1485万円)
- 衛生費
- 健康増進施設利用助成業務委託金 (54万円)

・イノシシ捕獲用檻箱の調達経費 (10万円)



修で約630万円支出しているが、国庫補助対象にならないのか。
答 交付税の交付金対象になる。

問 地方公共団体情報システム機構というの、中間サーバーということか。場所はどこか。
答 事務処理を行う団体は東京にあるが、情報を集約している「地方自治情報センター」の場所は、テロ対策のため公表されていない。

主な質疑

問 町税が1億2100万円以上減額になっている理由は。

答 株譲渡や土地譲渡による税収額が当初の見込みを大きく下回った。

問 番号制度導入のための業務委託やシステム改

問 番号制度でのなりすましの対策は。

答 写真で個人の確認をする。

問 捕獲用にくくり罠を使っているのは惨忍過ぎで国際的に恥ずかしい。法

的には許されているのか。
答 違法性の認識はない。害獣対策は勉強中。

■平成27年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入概要

- 繰越金 (1億2682万円)

● 国民健康保険事業運営基金積立金 (8500万円)

主な質疑
問 財政調整基金や公共施設整備積立金は、町の予定していた額に達しているか。
答 予想は立てていないが、余剰金が出てから考えている。

歳入概要
 ● 繰越金(4777万円)
 ■平成27年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第1号)
歳入概要
 ● 繰越金 (1億247万円)
歳出概要
 ● 給付費支払基金積立金 (5200万円)

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額	
一般会計	9,339,290	374,411	9,713,701	
特別会計	国民健康保険	4,281,072	127,327	4,408,399
	後期高齢者医療	856,071	47,774	903,845
	介護保険	2,693,681	112,299	2,805,980
	下水道事業	1,454,940	9,581	1,464,521
	小計	9,285,764	296,981	9,582,745
合計	18,625,054	671,392	19,296,446	

■平成27年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
歳入概要
 ● 一般会計繰入金 (△2500万円)
歳出概要
 ● 繰越金(3458万円)
 ■葉山町手数料条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)の施行に伴い、同法の規定に基づき交付される通知カード及び個人番号カードの再交付に係わる手数料を定める必要があるため。

主な質疑

問 個人番号カードの再交付料金は。

答 総務省からの文書では、通知カードは500円、個人番号カードは800円となっている。

問 窓口対応が大変になると思われるが。

答 アルバイト賃金が補正予算で認められた。10月以降1人の正規職員の増員も予定している。

問 住基カードを持っている人は。

答 個人番号カード交付の際に返上してもらう。



反対討論 (窪田、畑中)

アメリカでは他人の番号を悪用した、なりすまし事件が毎年90万件起っている。

個人の行動が逐一記録され、蓄積されることとなり、国家による国民の監視となるのではないかと、また、マイナンバー制度そのものに危惧があり、一度、運用が始まってしまえば、法改正によって適用範囲がとめどなく広がっていく懸念がある。

■葉山町個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律の制定に伴い、個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に必要事項を定めるため。

主な質疑

問 地域の特性に応じた施策とは。

答 条例の中に町独自の利用部分がある。

反対討論 (窪田、畑中)

現段階では任意だが、高齢者や障害者には不便さの方が勝る。セキュリティ問題が大きな課題になる。

賛成討論 (鈴木、待寺)

より公平・公正な社会を実現する基盤になる。本条例を制定しておくかないと平成28年1月からのマイナンバー関連の事務が執行できない。

■横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議について

三浦市の行政区域内に係わる消防に関する事務の管理及び執行が横須賀市に委託されたため。

主な質疑

問 規約が変わるだけで、体制に変化はないか。

答 変化はない。

■人権擁護委員の推薦について

秋山満江氏を選任

■人権擁護委員の推薦について

小松原榮氏を選任

27年5月18日及び6月23日に長柄地区で発生した、物損事故2件に関する和解と損害賠償額の決定。

■飲酒運転等撲滅に関する決議

葉山町では、533日間「交通事故による死亡事故ゼロ」が続いていた。しかし、5月24日に飲酒に関わる死亡事故が、また、8月23日には、ひき逃げにより3人が死傷する痛ましく悲惨な事故が発生した。

賛成討論 (横山、待寺)

町民の皆さまに議会として説明できるようにしたい。議会の権能を行使するべき。

職員給与の過支給に係る監査請求に関する決議

平成26年度決算審査において明らかとなった職員給与の過支給について、議会として真実を究明するため、地方自治法第98条2項に基づき、監査委員に対し監査を求め、その結果の報告を請求する。

特別交付税の減額見直しを求める意見書

町民の不利を解消するための具体的な行動をとるべき。

賛成討論 (横山、山田、窪田、畑中、笠原)

議員として内容は正当なもの。



交通安全キャンペーン

うえ、取組むことを強く決意した。

職員給与の過支給に係る検査に関する決議

平成26年度決算審査において職員給与の過支給が明らかになった。議会として真実を究明するため、地方自治法第98条1項に基づく検査を行う。

反対討論 (石岡)

まずは、町長からの調査報告を待つことが先決だ。

提案議員に対する質疑

選挙前に、この理不尽さを熟知したうえで、選挙公約に地域手当の是正を訴えていたのではないかと。

反対討論 (石岡、土佐)

意見書作成のプロセスにおいて疑問が残った。国に対し、短期間に同じような意見書を提出することは問題。

賛成討論 (横山、山田、窪田、畑中、笠原)

議員として内容は正当なもの。

総務建設

レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

葉山町個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例

た。
 (1) 町長又は教育委員会が行う事務で、個人番号を利用することができるときもの
 (2) 町長又は教育委員会が保有する特定個人情報で自らが利用することができるときもの
 (3) 町長が保有する特定個人情報で教育委員会に提供することができるときもの
 なお、この条例の施行日は、マイナンバー法のうち個人番号の利用に係る規定の施行の日である平成28年1月1日としています。

一方「セキュリティ面は諸外国でも問題となっており、当町も万全を期すべきだが、制度の開始は決定されており、本条例を制定しなければ適切な事務執行ができないことから賛成する」との意見が大半を占め、採決の結果、賛成多数で可決しました。
 なお委員の総意として、セキュリティ対策・情報漏えい対策について、所管事務調査として継続して取組むこととしました。



特殊勤務手当額の引き下げを求めるものです。担当課から「特殊勤務手当は、平成23年度以降に見直し、現在の5項目に削減した。昨年度は、防疫作業、行旅死亡人及び変死人の処置作業、災害現場作業の3つは実績がなく、死畜処理作業は21件、救急救命処置は55件、救急救命士以外は59件の実績があった。現在、町と職員労働組合が行っている給与の総合的な見直しには、当該手当は対象となっていない」との説明がありました。

委員からは「今後も職員労働組合と当該手当についても協議を行う必要があるが、現段階で本陳情を採択し、町に対し、当該手当の引き下げを求めるまでに至らない」との意見でまとまり、採決の結果、賛成なしで不採択となりました。

「透析患者は医療費の負担軽減があるものの、月13回の通院費などの負担が重いことは十分理解できるので、町の施策の充実を図っていくべき

委員会

広報はやまへの糖尿病に
関する記事の掲載など、
啓発活動を行っている
の説明があり、陳情の願
意は達成されていると判
断する」として趣旨了承
との意見と「生活習慣病
予防に向け一層の啓発活
動を行うため、採択し、
町に啓発活動に係る経費
を来年度予算に計上すべ
きと求める」との意見に
分かれ、採決の結果、全
会一致により採択としま
した。

広報はやまへの糖尿病に
関する記事の掲載など、
啓発活動を行っている
の説明があり、陳情の願
意は達成されていると判
断する」として趣旨了承
との意見と「生活習慣病
予防に向け一層の啓発活
動を行うため、採択し、
町に啓発活動に係る経費
を来年度予算に計上すべ
きと求める」との意見に
分かれ、採決の結果、全
会一致により採択としま
した。

広報はやまへの糖尿病に
関する記事の掲載など、
啓発活動を行っている
の説明があり、陳情の願
意は達成されていると判
断する」として趣旨了承
との意見と「生活習慣病
予防に向け一層の啓発活
動を行うため、採択し、
町に啓発活動に係る経費
を来年度予算に計上すべ
きと求める」との意見に
分かれ、採決の結果、全
会一致により採択としま
した。

広報はやまへの糖尿病に
関する記事の掲載など、
啓発活動を行っている
の説明があり、陳情の願
意は達成されていると判
断する」として趣旨了承
との意見と「生活習慣病
予防に向け一層の啓発活
動を行うため、採択し、
町に啓発活動に係る経費
を来年度予算に計上すべ
きと求める」との意見に
分かれ、採決の結果、全
会一致により採択としま
した。

広報はやまへの糖尿病に
関する記事の掲載など、
啓発活動を行っている
の説明があり、陳情の願
意は達成されていると判
断する」として趣旨了承
との意見と「生活習慣病
予防に向け一層の啓発活
動を行うため、採択し、
町に啓発活動に係る経費
を来年度予算に計上すべ
きと求める」との意見に
分かれ、採決の結果、全
会一致により採択としま
した。

平成28年度における「慢性腎臓病（CKD）及び生活習慣病対策」についての陳情

平成21年に障害者医療
費助成制度の改正により
設けられた「葉山町心身
障害者医療費助成規則」
年齢制限の撤廃を求める
ものです。

「担当課から、特定健
康診査の通知に生活習慣
病に関する説明の掲載、

「制度改正当初は2自
治体だったが、現在では
県内20自治体で年齢制限
を実施または実施予定で
ある。県内の対応状況や
当町の財政状況等も考慮

障害者「自動車燃料費助成」の復元を求める陳情

重度身体障害者自動車
燃料費助成要綱を改め、
ひと月当たり20リットル
以上に半減された自動車燃
料費助成について、復元
することを求めるもので
す。

「自動車燃料費助成事業」の見直しに際しては、障害者タクシー券交付事業の交付枚数等について併せて検討すべきであり、本陳情の求める自動車燃料費助成事業の助成限度量だけの復元には賛同しかねる」との意見でまとまり、全会一致で不採択としました。

「自動車燃料費助成事
業の見直しに際しては、
障害者タクシー券交付事
業の交付枚数等について
併せて検討すべきであ
り、本陳情の求める自動
車燃料費助成事業の助成
限度量だけの復元には賛
同しかねる」との意見で
まとまり、全会一致で不
採択としました。

「自動車燃料費助成事
業の見直しに際しては、
障害者タクシー券交付事
業の交付枚数等について
併せて検討すべきであ
り、本陳情の求める自動
車燃料費助成事業の助成
限度量だけの復元には賛
同しかねる」との意見で
まとまり、全会一致で不
採択としました。

「自動車燃料費助成事
業の見直しに際しては、
障害者タクシー券交付事
業の交付枚数等について
併せて検討すべきであ
り、本陳情の求める自動
車燃料費助成事業の助成
限度量だけの復元には賛
同しかねる」との意見で
まとまり、全会一致で不
採択としました。

「自動車燃料費助成事
業の見直しに際しては、
障害者タクシー券交付事
業の交付枚数等について
併せて検討すべきであ
り、本陳情の求める自動
車燃料費助成事業の助成
限度量だけの復元には賛
同しかねる」との意見で
まとまり、全会一致で不
採択としました。

平成26年6月開始の戸別収集とステーションでの資源回収に伴う事業の実施結果と事業効果について町議会として分析検討するとともにその結果を町民に説明することを求める陳情書

他自治体に比べ圧倒的
に高いごみ処理費の削減
は町政最大の課題である。
ごみ処理費の削減に向け、
集団資源回収、戸別収集
化に伴う収集経費の増減
等、経費の徹底的な分析
が必要であり、当町のご
み処理費のあり方を議論
するため、

他自治体に比べ圧倒的
に高いごみ処理費の削減
は町政最大の課題である。
ごみ処理費の削減に向け、
集団資源回収、戸別収集
化に伴う収集経費の増減
等、経費の徹底的な分析
が必要であり、当町のご
み処理費のあり方を議論
するため、

他自治体に比べ圧倒的
に高いごみ処理費の削減
は町政最大の課題である。
ごみ処理費の削減に向け、
集団資源回収、戸別収集
化に伴う収集経費の増減
等、経費の徹底的な分析
が必要であり、当町のご
み処理費のあり方を議論
するため、

他自治体に比べ圧倒的
に高いごみ処理費の削減
は町政最大の課題である。
ごみ処理費の削減に向け、
集団資源回収、戸別収集
化に伴う収集経費の増減
等、経費の徹底的な分析
が必要であり、当町のご
み処理費のあり方を議論
するため、

葉山町のごみ処理の将来計画策定のため専門家や町民が参加した審議会を設けて検討するよう山梨町長に要請してください

27年8月27日付けで町
長あてに、ごみ処理の基
本的方向を定める第三者
機関として審議会又は調
査検討委員会を設置し、
ごみ処理行政の方向を確
立するよう陳情書を提出
したので、議会からも町
長に対し働きかけを行うこ
とを求めるものです。

27年8月27日付けで町
長あてに、ごみ処理の基
本的方向を定める第三者
機関として審議会又は調
査検討委員会を設置し、
ごみ処理行政の方向を確
立するよう陳情書を提出
したので、議会からも町
長に対し働きかけを行うこ
とを求めるものです。

27年8月27日付けで町
長あてに、ごみ処理の基
本的方向を定める第三者
機関として審議会又は調
査検討委員会を設置し、
ごみ処理行政の方向を確
立するよう陳情書を提出
したので、議会からも町
長に対し働きかけを行うこ
とを求めるものです。

27年8月27日付けで町
長あてに、ごみ処理の基
本的方向を定める第三者
機関として審議会又は調
査検討委員会を設置し、
ごみ処理行政の方向を確
立するよう陳情書を提出
したので、議会からも町
長に対し働きかけを行うこ
とを求めるものです。



所管調査事項
*学校給食について
委員長 待寺 真司

議会広報

皆さまのご意見を伺う会

『葉山町立中学校給食推進委員会』の進捗状況の説明を受け、町民の皆さまへ現状報告とご意見を伺う場を設ける事を決定しました。



小委員会「葉山町議会だより編集委員会」

3常任委員会委員長を除き、編集作業のための小委員会を設置しました。

委員長 窪田美樹

町村議会広報

研修会に参加して

7月8日、東京都全国町村議員会館にて開催され、事前に議会だより120号を送付しクリニックを受けました。

講師である、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏からは、色使い、紙面構成・配置、表現方法等細部にわたり評価、指摘を受けました。

今回学んだことは、今後の紙面作りにはっきりと反映させ、よりわかりやすく、より見やすい「議会だより」の編集に取組んでいきます。

議会運営

陳情審査

陳情 議員提案条例改正の町長との取引について 事実説明を求める

平成27年第2回定例会

の金崎ひさ議員の一般質問で、自身が所属する会派の町政報告に掲載された記事について「守屋亘弘元町長が町長から条例提案の依頼があったことを横山すみ子議員に話したことは事実であり証人もいる」と述べたことに

関し、議会として事実関

係を調査し町民に明らかにすることを求めているものです。

「一般質問の答弁で、町長は守屋亘弘元町長に条例提案を依頼したことも、

取下げを依頼したことも全くな

いと明確に否定している。当事

者間の認識は平行線のままであ

ることが予測され、仮に調査し

ても議会として結論を得られな

いと考えること

から、本陳情に賛成すること

はできない」との意見でまとまり、採決の結果、賛成なしにより不採

択としました。

議会改革

●寒川町議会へ「タブレット端末の活用による

「ペーパーレス化」視察



寒川町視察の様子

全員協議会

議長招集による会議

●6月24日に町長召集の議員懇談会で「葉山町都市計画マスタープラン」の説明を受けましたが、質疑は認められなかったため、6月29日に議長召集の全員協議会を開催したものです。

主な質疑は、葉山町の面積の問題、計画期間の問題、前計画の総括について、自然環境保全と防災対策について、総合計

画審議会との関係についてなどを行いました。終了後、パブリックコメントに議会として意見を

を出すこととなり、各会派、個人が出した意見を提出しました。

なお、提出した意見と町からの回答は、議会ホームページで公開しています。

●9月30日、全員協議会を開催し、次の2項目について、町側からの説明後、質疑応答を行いました。

後、質疑応答を行いました。

た。

(1)クリーンセンターへ

のごみの直接搬入に係る対応について

(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略について

議長 近藤昇一

特別委員会

職員給与の過支給に関する検査

決算審査において明らかとなった職員給与の過支給について、議会として真実を究明するため、地方自治法第98条第1項に基づく「検査特別委員会」を設置しました。

伊東圭介委員長のもと、横山すみ子副委員長、飯山直樹、細川慎一、窪田美樹、畑中由喜子、石岡実成各委員の構成で行います。



決議しました

職員給与の過支給に係る検査に関する決議

地方自治法第98条第1項の規定により、次の事項について事務の検査を行うものとする。

1 検査項目

平成26年度葉山町一般会計歳入歳出決算の審査において明らかとなった職員給与の過支給に係る検査に関する事項

2 検査方法

- (1) 関係書類及び報告書の提出を求める。
- (2) 本検査は、地方自治法第109条及び葉山町議会委員会条例第5条の規定により、委員7人で構成する「職員給与の過支給に関する検査特別委員会」を設置し、これに付託して行う。

3 検査権限

本議会は、1に掲げる事項の検査を行うため、地方自治法第98条第1項の権限を「職員給与の過支給に関する検査特別委員会」に委任する。

4 検査期限

職員給与の過支給に関する検査特別委員会は、1に掲げる検査が終了するまで閉会中もなお検査を行うことができる。

職員給与の過支給に係る監査請求に関する決議

地方自治法第98条第2項の規定により、次のとおり監査委員に対し監査を求め、その結果の報告を請求するものとする。

1 監査を求める事項

平成26年度葉山町一般会計歳入歳出決算の審査において明らかとなった4件の職員給与の過支給に係る次の事項

- (1) それぞれの事案の発生から返還に至る経緯
- (2) 事務処理の適法性（消滅時効を含む）
- (3) 事案発覚後の町の対応

2 監査結果の報告期限

平成27年12月7日まで



8月21日、中学生議会が開催され、9人の中学生議員が山梨町長に対し、本職の議員顔負けの質問を行いました。
中学生議会の様子は、議会ホームページでご覧いただけます。



中学生議会

9月2日、青森中央学院大学経営法学部 佐藤敦准教授を招き「対話が創る地方創生」～議会報告会と議員間討議で対話の実践～の演題で講演を受け、参加者が気軽に話せる雰囲気づくりなどを学び、今後の実践に役立てられるものとした。

議員研修会



決 議 し ま し た

飲酒運転等撲滅に関する決議

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、すべての人の切実な願いであるとともに、永年の課題でもある。

しかしながら、交通事故は関係機関・団体の努力や飲酒運転の厳罰化等を背景に全国的には減少傾向にあるものの、依然として悪質な飲酒運転による人身事故は後を絶たず、多くの方が交通事故の犠牲者となり、悲しみや苦しみを抱えながらの生活を余儀なくされている。

本町においても533日間「交通事故による死亡事故ゼロ」が続いていたが、本年5月24日に飲酒が関わる死亡事故が発生した。また、8月23日にも3人を死傷させ、ひき逃げするという痛ましく悲惨な事故が起きた。

このような悲劇を二度と繰り返さないためには、私たち一人ひとりが飲酒運転等による交通事故の悲惨さを深く認識し、運転者の交通安全意識の向上はもとより、家庭や職場、さらには地域が一体となって、飲酒運転等の取締り、交通安全思想の普及・啓発等を強化することが重要である。

よって、本町議会は、町及び関係機関・団体と連携のうえ、町民の交通安全意識高揚のための対策、飲酒運転等の悪質・危険運転の根絶対策等を推進し、交通事故のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて全力を挙げて取り組むことを強く決意するものである。

以上、決議する。

平成27年9月4日

葉 山 町 議 会

みなさんからの陳情のゆくえ

- ◎当町職員の特殊勤務手当の引下げを求める陳情 不採択
- ◎マイナンバー制度実施の中止または延期を求める国への意見書提出を求める陳情 不採択
- ◎外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情 机上配付
- ◎平成28年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情 採 択
- ◎平成28年度における障害者・透析者を含む移動困難者に対する「通院支援」についての陳情 採 択
- ◎平成28年度における「慢性腎臓病（CKD）及び生活習慣病対策」についての陳情 採 択
- ◎陳情 議員提案条例改正の町長との取引について事実解明を求める 不採択
- ◎障害者医療費助成制度の「年齢制限」撤廃を求める陳情 不採択
- ◎障害者「自動車燃料費助成」の復元を求める陳情 不採択
- ◎平成26年6月開始の戸別収集とステーションでの資源回収に伴う事業の実施結果と事業効果について町議会として分析検討するとともにその結果を町民に説明することを求める陳情書 趣旨了承
- ◎葉山町のごみ処理の将来計画策定のため専門家や町民が参加した審議会または調査検討委員会を設置して検討するよう山梨町長に要請してください 趣旨了承

なお継続して審査します

- ◎陳情 葉山議会議員報酬の改定を求める (議会運営委員会)

意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定により、国会または関係行政庁へ送付しました。

マイナンバー制度の安全性の確保と慎重な運営を求める意見書

マイナンバー制度は、平成25年5月に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が成立したことにより、平成27年10月から個人番号・法人番号が通知され、平成28年1月から順次、各行政機関において利用開始となる予定である。

この制度の目的は、住民票を有する全ての国民に12桁の番号を付与し、それぞれの個人情報情報をこれに帰属させることで個人情報管理の効率化を図るものである。しかし、行政機関による違法な監視、公務員による目的外利用、なりすまし等による情報漏えい、国が国民の資産を把握できることで預金封鎖が容易になることなど、制度及び危機管理に対する不安と懸念、情報を利用する者に対する不信の声がある。

また、情報連携の根幹を担う地方のシステム整備が必須であり、地方公共団体に新たな負担が生じることも懸念されている。

よって、国においては、マイナンバー制度の安全性の確保と運営について慎重に進めるよう、次の事項について強く要望する。

- 1 国民への更なる周知を図り、マイナンバー制度に対する国民の不安・懸念・不信を払拭すること。
- 2 第三者機関による監視・監督の徹底やシステム上の安全措置など、プライバシーの保護に万全の対策を講じること。
- 3 マイナンバー制度は国家的な社会基盤であることから、マイナンバー制度に伴うシステム及びネットワークの構築等に要する経費は国が全額負担し、地方公共団体に新たな経費負担が生じないようにすること。
- 4 マイナンバー制度導入で民間事業者には税や社会保障の手続き、給与所得の源泉徴収票の作成など、重い恒常的な負担が生じる。この負担軽減のため、制度及び「特定個人情報の適正な取り扱いに関するガイドライン（事業者編）」の改正を行うこと。

平成27年10月8日

葉山町議会

特別交付税の減額見直しを求める意見書

地方公務員の給与は、国家公務員の給与制度を基本とし、「均衡の原則」から地域民間給与に基づく水準を重視するように求められている。これにより、民間賃金水準の反映を目的とした地域手当が支給されているが、当町を含む「人口5万人未満の市町村」に対しては、補完として設けられた基準による極めて限定的な支給率が定められている。

その地域手当支給基準の条件のひとつとされる、パーソントリップ数値において当町の19.89%は、政令市を除く神奈川県基礎自治体において、鎌倉市・逗子市に次ぐ県内3番目の高さである。また、生活保護基準においても、当町は鎌倉市・逗子市とともに生活保護基準1級地-1と、最も高く定められ、物価、生活水準、消費水準について近隣自治体と同等の評定を得ている。

こうした基準の比較から、数値の偏りは地域に現れており、自治体の規模に因らない事が分かる。相模湾沿いに連なる「鎌倉・逗子・葉山」の海に面した立地や、同趣の生活様式などを含めた、広範な地域の一体性が認められることは明白である。

このような地域において「鎌倉市・逗子市の支給率15%」に対し「葉山町の支給率6%」という地域手当支給率の大幅な落差が、職員採用や、障害や介護、福祉事業の補助金などの面において、町民に不利益をもたらしている事実は、「この支給率の格差2.5倍は、公平性を保持し得る適正值であるのか」という疑念を顕在化したものである。

賃金構造基本統計調査においては、全国で2番目に高いのが神奈川県であることも、当町の得ている評定の高さが確かなものと客観的に示されている。本来の賃金指数を用いた地域手当支給基準で算定されないことにより、やむを得ず国基準を超過して支給している。この事実と実態を踏まえれば、当町に対して制度上による不利益があると考えられる。

この制度は地域における民間と公務員、また、公務員間の給与格差を是正するものと認識するが、その支給率が実態に即さないことで地域間格差を生じさせている事態は、(一財)自治総合センターの調査結果にあるように、当町固有の事案では無く制度上に見られる全国的な問題である。そこで地域手当の本質に鑑み、早急に地域に「均衡」をもたらす施策を望むものである。

上述のことから、やむを得ず国基準を超過して支給している自治体に対する、特別交付税の減額は実態にそぐわない措置と考え、減額措置の見直しを求めるものである。

平成27年10月8日

葉山町議会

平成27年議会 第3回定例会 表決結果

議員氏名 (議席順)	横山 すみ子	金崎 ひさ	鈴木 道子	飯山 直樹	細川 慎一	山田 由美	窪田 美樹	畑中 喜子	石岡 実成	待寺 真司	伊東 圭介	笠原 俊一	土佐 洋子	近藤 昇一	結果
議案・決議・意見・陳情等															
平成27年度葉山町一般会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	× 討論	× 討論	○	○	○	○	○		可決
決算の認定について (平成26年度葉山町一般会計歳入歳出決算)	×	×	×	×	×	×	× 討論	× 討論	×	× 討論	×	×	×	×	不認定
決算の認定について (平成26年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○	○	○	× 討論	× 討論	○	○ 討論	○	○	○ 討論		認定
決算の認定について (平成26年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○	○	○	× 討論	× 討論	○	○ 討論	○	○	○ 討論		認定
決算の認定について (平成26年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○	○	○	× 討論	○ 討論	○	○ 討論	○	○	○ 討論		認定
決算の認定について (平成26年度葉山町下水道事業特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○	○	○	× 討論	× 討論	○	○ 討論	○	○	○ 討論		認定
葉山町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	× 討論	× 討論	○	○	○	○	○		可決
葉山町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	○ 討論	○	○	○	× 討論	× 討論	○	○ 討論	○	○	○		可決
職員給与の過支給に係る検査に関する決議 (議員提案)	○ 討論	○	○	×	○	×	○	○	× 討論	○ 討論	◎	○	×		可決
特別交付税の減額見直しを求める意見書 (議員提案)	○ 討論	○	○	×	◎	○ 討論	○ 討論	○ 討論	× 討論	○	○	○ 討論	× 討論		可決
マイナンバー制度実施の中止または延期を求める国への意見書提出を求める陳情	×	×	×	×	×	×	○ 討論	○ 討論	×	×	×	×	×		不採択
陳情 議員提案条例改正の町長との取引について事実解明を求める	×	×	×	×	×	○ 討論	× 討論	×	×	×	×	×	×		不採択

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対
※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

全会一致の可決議案	結 果
平成27年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
平成27年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
平成27年度葉山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
平成27年度葉山町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議について	可決
人権擁護委員の推薦について	可決
人権擁護委員の推薦について	可決
教育委員会委員の任命について	同意
「議案第18号決算の認定について（平成26年度葉山町一般会計歳入歳出決算）」訂正の件	可決
飲酒運転等撲滅に関する決議	可決
マイナンバー制度の安全性の確保と慎重な運営を求める意見書	可決
職員給与の過支給に係る監査請求に関する決議	可決
当町職員の特殊勤務手当の引下げを求める陳情	不採択
平成28年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情	採択
平成28年度における障害者・透析者を含む移動困難者に対する「通院支援」についての陳情	採択
平成28年度における「慢性腎臓病（CKD）及び生活習慣病対策」についての陳情	採択
障害者医療費助成制度の「年齢制限」撤廃を求める陳情	不採択
障害者「自動車燃料費助成」の復元を求める陳情	不採択
平成26年6月開始の戸別収集とステーションでの資源回収に伴う事業の実施結果と事業効果について町議会として分析検討するとともにその結果を町民に説明することを求める陳情書	趣旨了承
葉山町のごみ処理の将来計画策定のため専門家や町民が参加した審議会または調査検討委員会を設置して検討するよう山梨町長に要請してください	趣旨了承

議会活動日誌

今回は、第2回定例会以後、第3回定例会終了までの活動報告をいたします。

8 月		9 月	
28日	議会運営委員会	2日	議員研修会
26日	総務建設常任委員会	4日	本会議（定例会）
19日	広島県庄原市議会視察来町	9日	本会議（定例会）
6日	教育民生常任委員会	10日	本会議（定例会）
31日	寒川町議会視察来町	11日	議会運営委員会
24日	議会広報常任委員会	14日	決算特別委員会
	消防署及び横須賀市消防局視察	15日	決算特別委員会
	総務建設常任委員会（葉山町）	16日	決算特別委員会
22日	議会運営委員会	17日	決算特別委員会
17日	寒川町議会視察研修	24日	教育民生常任委員会
16日	京都府久御山町議会視察来町	25日	決算特別委員会
14日	議会広報常任委員会	28日	総務建設常任委員会
10日	議会広報常任委員会	29日	議会広報常任委員会
9日	議会広報常任委員会	30日	議会運営委員会
8日	町村議会広報研修会		全員協議会
3日	議会広報常任委員会		
2日	議会広報常任委員会		
1日	総務建設常任委員会		
29日	全員協議会		

いっぱん 質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

11人が町政を問う

■ 一般質問とは

議員が町長等（執行機関）に対し、町政全般の事務の執行状況や将来方針等の所信や疑問をたずねること、あるいは報告や説明を求めることです。詳しくは議会ホームページをご覧ください。

か、営業時間を1時間延長した。当然の結果として、逗子や鎌倉の営業が終わってから、葉山に流れてくる人達が増え、葉山警察の扱った事案が26年に比べ、2.4倍以上に上

問 8月に一色

問 今夏、鎌倉市は条例で砂浜での飲酒や入れ墨の露出等を禁止したが、葉山町は規制強化どころか、営業時間を1時間延長した。当然の結果として、逗子や鎌倉の営業が終わってから、葉山に流れてくる人達が増え、葉山警察の扱った事案が26年に比べ、2.4倍以上に上

町長 11月初旬に連絡会と反省会を行い、警察や関係者から意見をいただき考えをまとめた。

町長 環境面や景観面のアプローチも考えたい。が起る前に、逗子・鎌倉のよう

問 町内では、宅地開発が相次いでいる。開発事業を止めることはできないが、だからこそ、町がどのような姿勢で向き合

問 県は「海水浴場ルール」で、各自自治体にルールの策定を義務付けたが、その他の質問



畑中由喜子
町長 開発事業に関する今後の対策は
環境や景観面からのアプローチも考えたい

問 県は「海水浴場ルール」に関するガイドラインで、各自自治体にルールの策定を義務付けたが、その他の質問

問 県は「海水浴場ルール」に関するガイドラインで、各自自治体にルールの策定を義務付けたが、その他の質問



長者ヶ崎の景色

飯山直樹
都市経済部長 決して良くはない
海の家でのライブの騒音問題は



方々が、事業者の計画を先行して得ること、こうした条例があることを内外に示すことだ。

問 ライブハウスは防音施設で行うが、海の家は壁もない。ドラム等の楽器をそんな場所で大音量で行うことをどう思うか。

答 例は機能不足では。

都市経済部長 法律違反がない限り捜査権等がないため、あくまでも指導でを行うことをどう思うか。

問 決して良くはない。

答 委任条例にする考えは。

問 良いのであればライブをやめるべき。海辺の住人としては切実な問題だ。騒音の規制法等の適用は。

都市経済部長 海水浴場を対象とした条例が法律にはない。騒音・振動の規制法に基づいた自主条例を作るには、調査・研究が必要だ。

問 町づくり条例の意図は。

福社部長 医

都市経済部長 地域の師会の連携の

福社部長 医

都市経済部長 地域の師会の連携の

福社部長 医



海辺の風景

石岡実成
政策財政部長 さらなる研究を重ねて充実させていきたい
葉山町ホームページをもっと見易く判り易く



用アプリ「DITS」の推奨を行って欲しい。

問 町のホームページと連動した、スマートフォン用のごみ分別アプリを是非作って欲しい。

町長 葉山町の川の水質は、県が定める水質基準をクリアしている。

政策財政部長 他の自治体ホームページの取組みを参考に検討していきたい。

問 リバークリーンを、もっと行うべきでは。

問 安心・安全な町、防災の観点からも、葉山町商工会が進めている「通り名事業」をサポートして欲しい。

環境部長 管轄が県土木のであり、川の清掃は危険が伴うので簡単にはできないが、町民活動団体等の取組みを推進、または支援していきたい。

総務部長 防災マップに取込むことを始めとし、更なる連携を図っていき

問 NPO法人葉山災害ボランティアネットワークが取組んでいる、災害情報ポータルサイトや専

情

支



「災害情報ツイッターアプリ」と自治体オリジナル「ごみ分別アプリ」

金崎ひさ
**中学校生徒バス通学費助成の拡充は
 教育長 研究する**



問 バス通学費は36人に支給。実際はもっと多いが申請をしないのは年間の助成額が一カ月分の定額にもならないからでは。

教育長 距離が遠くなれば助成額が厚くなる。

問 職員の通勤は実費で支給し、生徒通学バスは初乗り金額を除いた部分のみを補助するのは、おかしいと思わないのか。

町長 教育長と検討する。化を行う。

問 障害者施策としてグループホーム設置のため、率県内1位町としての協力体制は。

町長 障害者福祉計画の重点施策として取り組む。

問 逗子市では、グループホーム一部屋につき50



バス通学の生徒たち

万円の設置補助の新規事業がある。取組む考えは。

環境部長 経費の削減だが行政の責務とは考えない。

町長 検討課題とする。

問 高齢のため働けなくなった障害者の終の棲家について、対応策は。

福祉部長 状況は把握しているので検討している。

問 川崎市では関係団体が話し合い、老人ホームに障害者枠を設けたが、処理法より上位の計画だ。

町長 確認の指示をする。

問 町長の目指す「ごみ行政」の将来像は。

環境部長 経費の削減だが行政の責務とは考えない。

問 税金は最少の経費で最大の効果をあげるべき。

町長 税金は最少の経費で最大の効果をあげるべき。

問 町職員の扶養手当過支給で、当該職員が資格喪失の事実を届け出る義務を怠った過失では。

総務部長 職員の過失を認めるか否か、難しい。

問 職員に返還を促すなど、厳しく責任ある対応が求められると思うが。

総務部長 返還について弁護士と相談し、引き続きお願いしていく。

問 ごみの問題でパーベキュー有料化・禁止も、いたし方ないと考えるが。

町長 パーベキュー客に対する規制、ごみの有料回収等について議論を進めていく。

問 緊急車両の進入ができない道がある。狭隘道

土佐洋子
**町職員給与の過支給の対応は
 町長 審査委員会を開く**



路拡幅整備ができないか。

問 予算が必要だが。

町長 逗子市の方法やい

政策財政部長 平成28年度当初予算に間に合えば、そのようにしたいが間に合えば、第2回定例会の補正予算で対応。

問 空き家対策の現状は。

政策財政部長 民間事業者に委託して、29項目の実態調査をしている。

問 空き家等対策の推進に関する特別措置法で、具体的な考えは。

町長 現状では空き家より、町の不動産業界を挙げて、既にある施設を案内し導くのがより迅速だ。

政策財政部長 実態調査の結果を見て、必要であれば設置する。

問 緊急車両の進入ができない道がある。狭隘道



狭い道の拡幅を

窪田美樹 学校給食の今後の進め方は
教育長 保護者などと十分な協議をする必要がある



問 全く話題になかった小学校給食を庁内部課長で構成する中学校給食推進委員会で検討したことが問題では。6校合わせたセンター方式は決定ではないと言うが、ほかの案が出されてないので選べない。メリット、デメリット、今後の進め方は、という事は、**教育長** 中学校給食実施の機会に小学校給食室の老朽化対策を一体的に進めることが合理的。地産献立、きめ細やかなアレルギー対応や児童と作りの触れ合いなど、自校方式の良い点を可能な限り継続するため、保護者などと十分な協議をする必要がある。

問 葉山一色宅地計画に
関する数々の問題点は、住民の不信感が募った。かなりの時間が経過した農地転用時期の妥当性と、意がされていない。町の教訓とした今後の対応は。関わりは。
都市経済部長 農業委員会が事業者者に促し、27年1月に提出された。今後は、土地売買がない場合でも地目を即、調べる。**問** 農地の譲り受人が先

の同一性も、内規を考えると、
問 工事完了したが出水問題は、業者と住民の合意がされていない。町の関わりは。
都市経済部長 事業者と住民任せという事はない。**その他の質問** 地域手当見直しへの現状は・介護保険事業計画の遂行状況



「皆さまのご意見を伺う会」のようす

問 生活排水処理のあり方10年概成に向けアクションプランの進捗状況は。
町長 公共下水道審議会の答申内容等を踏まえ策定し、素案の段階で示す。との話しはあった。
問 公共下水道と合併処理浄化槽で100%整備を図るのか。3団地の大型浄化槽の対応はどうするか。
環境部長 100%が目標だ。3団地も公共下水道に接続してもらいたい。

問 職員給与
過払い事案で発生した、戻入時効分の起案文書が見当たらないのは、事務決裁規程に抵触しているのでは。
副町長 時効にするという意思決定を受けけるなら、当然文書起案をすべきだ。



待寺真司 アクションプラン成功の鍵は河川の利用だが
町長 その通りだと思っ

の視察を行ったが、河川の壁があり、いかにや
りきるか知恵を出し合い、
方策を導いていくとした。
問 最大の課題は、国庫補助金の100%確保だが、
環境部長 100%担保の明
言は取れないが、モデル
地区としてプレゼンもし
ており、優先的に考える
との話しはあった。
問 定期監査で指摘され
た文書管理に関する対応
を、即座に行うべきでは
ないか。
町長 監査の指摘を受け、
文書管理規程の見直しを
検討した。その重要性に
ついての意識が欠落して
いたと自省している。



下山川河川管理用通路

鈴木道子 公共下水道への私道の接続向上策は
環境部長 規制緩和や専用パンフレットを作成する



問 公共下水道事業の接続率は。

町長 市街化区域内の

317・5軒が供用開始面積で、71・5%の接続率だ。引き続き研究して

問 私道内設置はどうか。

環境部長 接続の対象となるのは平成23年度末で、

200件、接続件数は平成26年度末で40数件だ。

問 私道内設置制度の要件を緩和すべきだが。

環境部長 指摘を視野に入れ私道専用のパンフレットを作るつもりだ。戸

別訪問も研究し改良する。

問 税の一括納入の割引を復活すべきだがどうか。

総務部長 課題として研究していく。

問 図書館側のトンネル

近辺の国・県道交差点に防犯カメラ設置の要望があるが、設置できない。総務部長 警察署と連携し選出した今回の7カ所の工事には入っていない。道があった。増設の考え

問 設置すべき重要な地

町長 点と考えるがどうか。

総務部長 状況をみて引

問 街路灯設置

町長 町内は全

てLED街路灯に整備し、合計

で3643本設置した。今後の

設置は状況を見て考える。

問 背のばしベ

ンチ等ストレッチ

機能を持った健康

遊具設置が増え



防犯カメラ設置予定場所

横山すみ子 空き家対策、法律を後盾に緊急対応も必要では
町長 法律を後盾に強く取組み、私も責任を取る覚悟で



問 平成27年、国は空き

家対策特別措置法を定め

た。空き家対策に苦しむ自治体を助ける法律でも

ある。当町でも、現在、

近隣に不安を与えている

空き家もある。これは28年の調査結果を待たず、

緊急対応すべきである。

町長 27年度は、町内の

空き家の実態把握を目的とした調査を実施中。平

成28年度以降、法律に規定する衛生・防災面で問

題のある特定空き家への対応、空き家や跡地の有効活用等の取組みを、計

画的に進める。

現在、近隣に悪影響を与えている空き家等につ

上で、所有者等に適切な処置をお願いしている。問 なかなか対応しても

お願いか、今回の法による

き家対策の法律を後盾に強く取組むよう、職

員に指示すべきだ。

町長 この

法律を後

盾に、市町

村の責任を

しっかりと

果たすよう

担当にも申

し、私自身

も責任を取

る覚悟で進



問 無戸籍

思。問 無戸籍

表紙説明

10月24日、午前10時半から上山口小学校旧校舎、午後3時から葉山町教育総合センターにて「皆さまのご意見を伺う会」を開催しました。

これは、議会広報常任委員会で企画・立案し、議員全員が出席して行ったもので、今回のテーマは『学校給食について』でした。



秋晴れの休日にもかかわらず、多くの町民の皆さまから貴重なご意見を伺うことができ、とても有意義な時間となりました。

今回いただいたご意見を早速にまとめ、議会として町に伝えてまいります。

なお、『学校給食について』の詳細は、次号にてご報告いたします。

町長行政報告

○1千万円以上5千万円未満の契約
千円未満四捨五入

①各中学校空調設備設置工事（電気設備改修）
2499万円

②各中学校空調設備設置工事（建築改修及び機械設備改修）
2941万円

③葉山処理区（堀内）枝線築造工事（その7）
2991万円

④長柄小学校及び上山口小学校屋内運動場天井等、非構造部材耐震化工事
3149万円

○決議の対応状況
第2回定例会で提出さ

れた「国に対し地域手当の支給割合引上げの要請を強め、同時に組合との地域手当の協議を早急かつ真摯に行うよう求める決議」の対応状況は、次のとおりです。

職員との給与、勤務時間その他の勤務条件に関しては、葉山町職員労働組合と、今後も人事院勧告の状況はもとより、神奈川県や県内他の市町村の状況などを考慮しながら真摯に協議を行ってまいります。すでに葉山町職員労働組合との事務折衝においても、地域手当については見直し事項として提示しているところであり、引き続き協議を行ってまいります。

お詫びと訂正

議会だより12号の次のページを訂正いたします。
○3ページ「新しい委員会メンバーの紹介」の「総務建設常任委員会」の左側、上から2つ目の見出し「総務部の所管に関する事項」の文末「職員人事」を「職員給与」に訂正します。
○14ページ下段の石岡議

員の見出し「消火活動」を「消火活動」に訂正します。
○19ページ上段の笠原議員の写真の説明「西浜町」を「西原町」に訂正します。
皆さまには、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

平成27年

第4回定例会は
11月27日(金)

からの予定です。
皆さまの傍聴をお待ちしています。

議会の
最新情報は

ホームページを
ご覧ください

議会交際費支出状況

(平成27年4月～平成27年9月)

内訳は次のとおりです。
(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

種別	件数	金額(円)	種別	件数	金額(円)
慶祝金	5	40,400	接遇費	3	25,590
弔慰金	0	0	その他	4	43,368
見舞金	1	10,000	合計	17	154,358
会費	4	35,000			

議長 近藤 昇一
議会広報 常任委員会
窪田 美樹
石岡 実成
横山すみ子
鈴木 道子
飯山 直樹
山田 由美
畑中由喜子
待寺 真司
笠原 俊一

編集後記

新しい広報常任委員
会メンバーとして2回
目の議会だより編集を
行いました。先輩議員
に頼りっぱなしの1回
目から少しは慣れて来
たようです。今回から
は広聴機能充実のため、
編集と広聴機能を分け
て当たりました。20数
ページの紙面全て、ワ
イワイやりながらの作
成です。
広聴・広報は英語で
Public Relationだそう
です。一方からの情
報発信ではなく、双方
向のコミュニケーション
を目的としています。
町民の皆さまとの情報
交換が実現できるツ
ルとなるよう、一同、
読みたくなるコンテン
ツに努めています。今
回はいかがでしょうか。
議会が目指す、町民
の皆さまとのコミュニ
ケーションの一端を担
えるよう努めてまいり
ます。

11月2日記 飯山直樹